

第5期中期目標期間終了時見込

地方独立行政法人鳥取県産業技術センター

業務実績評価書

第5期中期目標期間: 令和5年度～令和8年度

令和8年9月

鳥 取 県

I 全体評価

全体評価に当たっては、項目別評価を踏まえつつ、法人の中期計画の全体的な達成状況及び達成見込みについて、次の5段階で評価する。また評価の視点について記述するものとする。

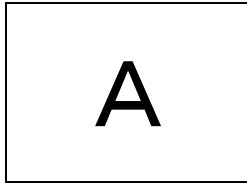
- S 計画を大幅に上回って業務が進捗しており、かつ特筆すべき業績を挙げている
- A 計画を上回って業務が進捗している
- B 計画どおりに業務が進捗している
- C 計画に対して業務の進捗がやや遅れている
- D 計画に対して業務の進捗が大幅に遅れている

全体評価

(第5期中期目標期間終了時見込業務実績評価)

総合評価

5段階評価



《評価基準》

- S 計画を大幅に上回って業務が進捗しており、かつ特筆すべき業績を挙げている
- A 計画を上回って業務が進捗している
- B 計画どおりに業務が進捗している
- C 計画に対して業務の進捗がやや遅れている
- D 計画に対して業務の進捗が大幅に遅れている

総評

第5期中期計画（県が定めた第5期中期目標に従い地方独立行政法人鳥取県産業技術センター（以下「センター」という。）が策定）において、センターでは、県内企業の技術力向上や高収益化、県内産業の発展につながる質の高い技術支援を軸として、重点プロジェクトに掲げる「DX推進による生産性向上」と「フードテックを活用したフードロスの削減と食品の高付加価値化」を積極的に推進し、中期計画の達成に向けた各年度活動の中間指標とするKPI（重要業績評価指標）の全項目（企業訪問件数、共同研究件数、オーダーメイド型技術者育成件数、外部発表件数）につき、各年度で設定値以上の取組状況である。

特に、中期計画の進捗を測るKGI（重要目標達成指標）について、相談対応件数（KGI：26,000件）では、令和7年度までの3年間で19,690件、令和8年度の見込みを加えると26,440件の実績を見込むとともに、技術移転件数（KGI：70件）では、令和7年度までの3年間で60件、令和8年度の見込みを加えると85件の実績を見込むなど、設定したKGIの全項目につき、目標値を上回る実績による達成が見込まれている。これらは、センターが活動の基本となる企業訪問と技術相談に積極的に取り組み、共同研究やオーダーメイド型の技術者育成など質の高い技術支援を行った成果であり、県内企業の技術力向上や高収益化に貢献されていることを高く評価する。

また、知的財産権の戦略的な取得と効率的な運用においては、センターの確立した「液体食品のカプセル化技術」の知的財産に関する取組が文部科学省の令和6年版科学技術・イノベーション白書に掲載されるとともに、知財図鑑の第6回知財番付で表彰されるなど、特筆すべき外部評価を得たことを高く評価する。加えて、保有する発明を県内企業等へ積極的に情報発信を行うことにより、令和7年度に実施許諾件数が過去最高となる60件に達し、海外展開や売上増加が見込まれるまでに発展するなど、知的財産の創出にとどまらず、企業での活用へ着実につなげている。

さらに、中期計画期間中において、センター設立100周年となる記念事業の実施や広報媒体を活用した効果的な情報発信を展開し、センターの認知度を高めるとともに、研究成果の学会発表や論文投稿等の外部発表を積極的に行い、それによる外部表彰の受賞など、職員の能力開発と意欲向上にも取り組み、センター組織体制の強化と支援能力の向上を図った。

以上、第5期終了時において、中期計画を上回って業務が進捗すると見込まれることから、「A」評価とする。

Ⅱ 項目別評価

項目別評価に当たっては、法人から提出された業務実績報告書及び法人からのヒアリングを基にした検証を踏まえ、中期計画の達成に向けた法人の事業進捗状況・成果を中期計画の項目ごとに、次の5段階で評価する。

- S 計画を大幅に上回って業務が進捗しており、かつ特筆すべき業績を挙げている
- A 計画を上回って業務が進捗している
- B 計画どおりに業務が進捗している
- C 計画に対して業務の進捗がやや遅れている
- D 計画に対して業務の進捗が大幅に遅れている

第5期中期目標期間終了時見込項目別評価

大項目	中項目	小項目	評価単位	自己評価	委員会評価
Ⅰ 中期目標の期間 【令和5年4月1日～令和9年3月31日(4年間)】					
Ⅱ 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項					A
1 県内企業の製造技術・品質向上、新技術開発への技術支援					
(1) 技術的課題解決のための技術相談			1	A	A
(2) 製品の品質安定化・性能評価、新技術開発のための機器利用、依頼試験・分析			2	A	A
(3) 新事業創出及び新分野進出への支援			3	A	A
2 鳥取県の経済・産業の発展に資する研究開発					
(1) 技術シーズの創生、研究成果の技術移転による事業化促進			4	A	A
(2) 知的財産権の戦略的な取得と効率的な運用			5	A	A
3 鳥取県で活躍する産業人材の育成			6	A	A
4 県内外機関等との連携の推進			7	A	A
5 積極的な情報の発信			8	A	A
【特記事項】 - 技術相談、企業訪問、機器利用・依頼試験等を通じた支援が順調に進捗しており、相談対応件数に係るKGIの達成が見込まれる点を高く評価する。 - 企業ニーズを踏まえた共同研究や研究成果の技術移転が順調に進捗し、技術移転件数に係るKGIについても達成が見込まれる。特に知的財産については、第5期期間中に特筆すべき外部評価を受けた成果があるほか、実施許諾の拡大や売上拡大が見込まれる実施許諾案件など、知財の創出から事業活用まで一体的に進展している点を高く評価する。 - オーダーメイド型技術者育成を継続的に推進し、AI画像検査やロボット技術等の企業実装、技術移転、研修後の設備の自立的運用など、企業の具体的な課題解決につながる成果を上げている点を高く評価する。なお、オーダーメイド型技術者育成については、研修前の成果目標設定と終了後のフォローアップをされたい。 - 大学、産総研、産業支援機関等との連携から共同研究や技術移転等の具体的な成果を創出している。また、外部発表等が各年度で計画を上回る水準で推移し、企業への情報提供や新たな支援機会の創出に取り組んでいる。 - 支援後の企業の生産性、品質、売上、事業化等への効果について、既に具体的な成果が確認されている事例を参考に、支援後のアウトカムを継続的に把握し、センター活動の県内産業への波及効果を検証することを期待したい。					

大項目	中項目	小項目	評価単位	自己評価	委員会評価
Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する事項					A
	1	機動性の高い業務運営、業務の効率化・合理化	9	A	A
	2	職員の意欲向上と能力開発			
【特記事項】					
・ 組織再編や重点プロジェクトの研究所横断的な推進等により、企業ニーズに対応した機動的な運営を進めている点を評価する。 また、外部機関等への派遣や職員の能力開発等を進め、外部発表や企業支援成果にもつながっている点を評価する。 ・ 今後は、こうした組織改革や人材投資が企業支援力や研究力の向上にどのような効果をもたらしたかを検証されたい。					

大項目	中項目	小項目	評価単位	自己評価	委員会評価
Ⅳ 財務内容の改善に関する事項					B
	1	予算の効率的運用	10	A	B
	2	自己収入の確保			
【特記事項】					
・ 予算の重点配分、外部資金の確保や機器利用等による収入確保に継続的に取り組んでいる点を評価する。今後、機器別の稼働率、利用料収入、維持管理経費、職員工数等を把握し、政策重要性を含めた維持・更新の優先順位を明確にされたい。 ・ 引き続き、費用対効果を検証しながら、限られた経営資源を企業支援や研究成果への波及効果が高い分野へ効果的に配分することを期待する。					

大項目	中項目	小項目	評価単位	自己評価	委員会評価
Ⅴ その他業務運営に関する重要事項					B
	1	内部統制システムの適切な運用、情報セキュリティ管理と情報公開の徹底	11	A	B
	2	施設・設備の計画的な修繕・整備			
【特記事項】					
- 内部統制、情報セキュリティ、安全衛生等の体制を継続的に強化している点を評価する。また、外部資金等を活用しながら施設・整備の計画的な更新を進めている。 - 今後、体制整備や研修等の実施に加え、取組の実効性やリスク低減効果についても検証されたい。					